

# 美しい 県土づくりNEWS



## 目次

- 2 平成 20 年岩手・宮城内陸地震から1年
- 8 みんなで防ごう土砂災害
- 11 大船渡港津波・高潮防災ステーション運用開始
- 12 津付ダムの付替道路の整備が進んでいます
- 13 空き家活用による住み替え・定住・交流促進事業の提案募集について
- 14 早池峰ダムのライトアップのお知らせ

2009 年  
6 月

岩手県県土整備部  
手づくり広報誌 59 号  
平成 21 年 6 月 24 日発行  
編集 県土整備企画室



買うなら岩手のもの  
**じいわて**

## 平成 20 年岩手・宮城内陸地震から1年 ～地震災害からの早期復旧を目指し、県土整備部の総力を結集～

平成 20 年 6 月 14 日に発生した岩手・宮城内陸地震から 1 年。岩手県内において観測史上最大の震度を記録したこの地震では、一関市、奥州市を中心に甚大な被害が発生しました。

地震から 1 年が経過し、これまで復旧・復興作業を急ピッチで進めて来ましたが、未だ国道 342 号の一部が全面通行止めになっているなど、公共土木施設の復旧はまだ道半ばです。県土整備部では、今後とも復旧・復興に総力を挙げて取り組んで参ります。



【写真】落橋した祭時大橋付近の状況  
通行確保のため仮設道路を整備

# 平成20年岩手・宮城内陸地震から1年

～公共土木施設の災害復旧工事が着々と進んでいます～

砂防災害課

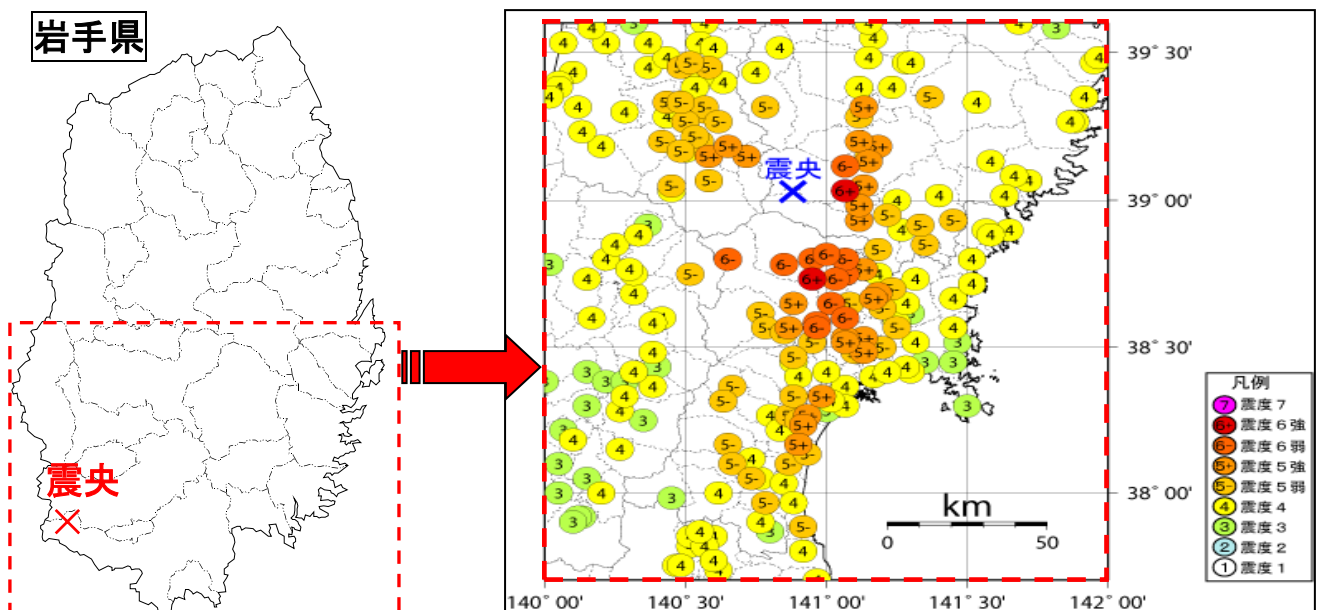
平成20年6月14日に発生した平成20年岩手・宮城内陸地震から1年が経過しました。この地震では、岩手県内において観測史上最大の震度を記録し、県内で2名が死亡、37名が重軽傷を負ったほか、国道342号の祭時大橋の落橋や大規模崩落など317箇所、約78億円もの土木施設被害が発生しました。

県土整備部では、平成21年度の業務運営方針として「H20地震災害からの早期復旧」を緊急課題に設定し、災害復旧工事などに重点的に取り組んでいくこととしており、県土整備ニュースでも公共土木施設の復旧状況などを情報発信していきます。

今月号では、岩手・宮城内陸地震の概要をふり返るとともに、現在の道路・橋梁等の公共土木施設の復旧状況などについてお知らせします。

## 1 平成20年岩手・宮城内陸地震の概要

平成20年6月14日午前8時43分頃、岩手県内陸南部を震源とするマグニチュード7.2の地震が発生し、岩手県奥州市と宮城県栗原市で震度6強、宮城県大崎市で震度6弱を観測しました。



震度分布図 (気象庁HP)

この地震により、本県では2名の尊い命が奪われたほか、多数の住宅被害が発生し、多くの人々が避難生活を余儀なくされました。

岩手県の一般被害の状況

市町村名	人的被害(人)		住宅被害(棟)		
	死者	負傷者	全壊	半壊	一部損壊
一関市	1	2	1	2	266
奥州市	1	32	1	2	453
北上市					2
花巻市		1			3
藤沢町		1			
平泉町		1			8
金ヶ崎町					25
西和賀町					6
合計	2	37	2	4	763

(岩手県総合防災室発表)

## 2 各地の被害状況と現在の復旧状況

県内の公共土木施設については、震源地近隣の一関市、奥州市を中心に、大規模な被災を受けました。国道342号の祭時大橋の落橋、大規模崩落による全面通行止めなど、県、市町村の総被害箇所317箇所、約78億円もの甚大な被害が発生しました。

岩手・宮城内陸地震 査定決定状況 (県土整備部所管公共土木施設分)

区分	河川		道路		橋梁		砂防設備		地すべり防止施設		下水道		合計	
	箇所	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
県	10	139,141	113	3,910,428	15	1,814,258	4	110,257	1	24,797	1	45,451	144	6,044,332
市町村	14	188,947	146	981,406	11	521,343					2	15,403	173	1,707,099
合計	24	328,088	259	4,891,834	26	2,335,601	4	110,257	1	24,797	3	60,854	317	7,751,431

まつるべ  
一般国道342号 祭時大橋



落橋した祭時大橋は、当面の通行確保のため、仮橋設置の応急工事を昨年11月末に完了しています。  
現在、落橋箇所の上流約150mの箇所では、新橋の設置工事に着手しています。



一般国道 342 号 <sup>やびつ</sup> 矢櫃地内

国道 342 号一関市矢櫃地内では、大規模な法面崩壊が発生し、現在、不安定土砂の撤去作業を行っています。

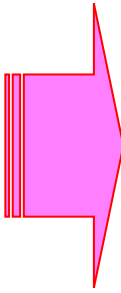


一般国道 342 号 <sup>すかわ しんゆ</sup> 須川～真湯

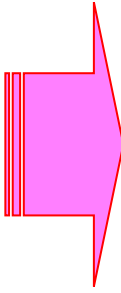
国道 342 号須川～真湯までの約 15km の区間は、4 箇所で大規模な崩落が発生するなど、現在も全面通行止めが続いています。  
平成 22 年秋の通行止め解除を目指し、鋭意災害復旧工事を進めています。



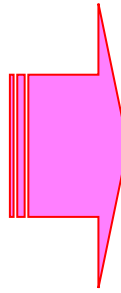
うまどめおおはしかみ  
一般国道 397 号 馬留大橋上地内



おおぶくろ  
主要地方道衣川水沢線 大袋地内



しもしあわせ  
主要地方道 花巻衣川線 下鹿合地内



平成 21 年 5 月末で、被害箇所 317 箇所のうち、187 箇所（59%）の復旧が完了しており、その他の被災箇所についても、鋭意復旧工事を進めています。

復旧工事に当たっては、交通規制など道路利用者の方々にはご不便をおかけする場合もあるかと思いますが、早期復旧に取り組んで参りますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いします。

岩手・宮城内陸地震関連の通行止めなどの情報は、こちらから確認できます。  
⇒ <http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=2500&of=1&ik=1&pnp=2500&cd=12192>

### 3 震災発生から1年、各地でフォーラムの開催や防災訓練等を実施しています

#### ①市民防災フォーラムの開催

平成21年6月14日、一関市役所・岩手県・国土交通省岩手河川国道事務所の主催により、一関文化センターで市民防災フォーラムを開催しました。甚大な被害をもたらした今回の地震災害から何を教訓として学ぶか、岩手大学齋藤副学長の基調講演やパネルディスカッション、記録映像の上映などを実施しました。



岩手大学 齋藤徳美副学長の基調講演



パネルディスカッションの様子

#### 市民防災フォーラムプログラム

□岩手・宮城内陸地震 記録映像上映

□基調講演 「岩手・宮城内陸地震から何を学ぶか」 齋藤徳美 岩手大学副学長

□パネルディスカッション

「岩手・宮城内陸地震を振り返る～自助・共助・公助のあり方について～」

コーディネーター 齋藤 徳美 岩手大学副学長

パネリスト

佐藤 勝雄 前一関市巖美18区区長

箱石 勝守 一関市消防団一関第4分団第2部長

宿輪 智浩 IBC岩手放送報道部主事

坂本 紀夫 一関市副市長

青木 俊明 県南広域振興局一関総合支局長

山本 聡 岩手河川国道事務所長

#### ②防災訓練の実施

奥州市役所では、同日に防災訓練を実施しました。胆沢区西部の県境を震源とする大規模地震を想定し、職員間の情報伝達や災害対策本部設置運用、自主防災組織・現地対策本部との連携による住民安否確認などの訓練を実施し、震災発生直後の迅速な対応と的確な手順を改めて確認しました。



防災訓練の様子

#### 防災訓練設定内容

- ・胆沢区西部と衣川区北西部で震度6強、その他の市内全域で震度6弱
- ・震源地を中心に県道、市道が土砂崩れ、崩壊で通行止め
- ・家屋被害が全壊25棟、半壊60棟、一部損壊850棟
- ・衣川区の北股地区では土石流によりダムが崩壊する危険

### ③岩手・宮城内陸地震災害復旧技術研修会の開催

県南広域振興局では、平成21年6月18日に行政機関、建設業者、設計コンサルタント等を対象とした岩手・宮城内陸地震災害復旧技術研修会を開催しました。

この研修会では、復旧の取組み内容を広く周知するとともに、甚大な被害が発生した地震災害からの復旧への取組みを今後の技術力の向上に役立てることを目的として、地震災害の復旧に力を注いだ各分野の専門家、国土交通省、林野庁などから講演をいただきました。

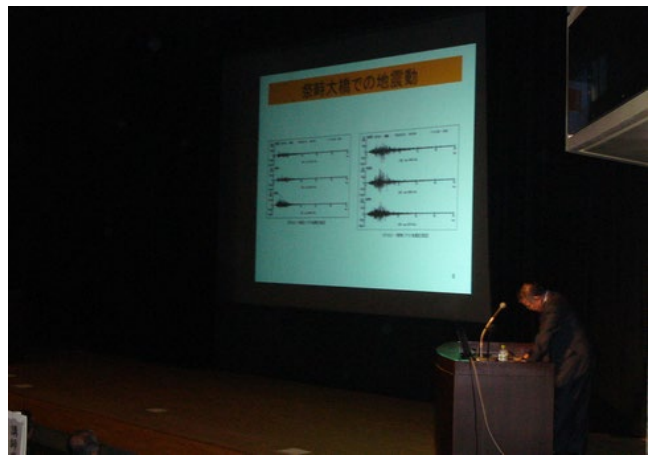
今後とも、研修会を継続して行う予定です。



勝部県南広域振興局長あいさつ



研修会の様子



岩手大学工学部 岩崎教授の講演

#### 研修会プログラム

##### □あいさつ

岩手県県南広域振興局長 勝部 修

##### □TEC-FORCE の取組み及び復旧活動への支援について

東北地方整備局企画部防災課長 熊谷 順子

##### □祭時大橋の被災メカニズムについて -祭時大橋被災状況調査検討委員会報告-

岩手大学工学部教授 岩崎 正二

##### □岩手・宮城内陸地震に係る土砂災害の調査結果について

岩手大学農学部准教授 井良沢 道也

##### □市野々原河道閉塞（天然ダム）への緊急対応について

東北地方整備局岩手河川国道事務所 副所長 稲葉 護

##### □国道342号真湯～秋田県境までの復旧について

岩手県県土整備部道路建設課整備担当課長 伊藤 正美

岩手県県南広域振興局一関総合支局土木部災害復旧対策課長 小関 司

##### □岩手・宮城内陸地震で行った岩手南部森林管理署の対応について

東北森林管理局岩手南部森林管理署次長 小原 和正

##### □避難勧告の早期解除に向けた取組みについて

岩手県県南広域振興局農林部林務室保全治山総括主査 小成 晴紀

岩手県県南広域振興局一関総合支局農林部林務課主任 梅村 昭栄



## みんなで防ごう土砂災害！！

～6月は土砂災害防止月間です～

砂防災課

平成20年は、6月14日に発生した「平成20年岩手・宮城内陸地震」や7月24日の岩手県沿岸北部を震源とする地震などを含め、全国各地で約700件の土砂災害が発生し、20名の尊い命が失われました。

今後も地球温暖化の影響などにより、ゲリラ豪雨や台風の増加等による土砂災害の増加、激化が懸念されているところです。

国土交通省では、土砂災害の防止と被害の軽減を目的に、6月を「土砂災害防止月間」としています。

平成21年度は、土砂災害への理解と関心を深め、防災意識の普及や警戒避難体制の整備等を促進するため、住民の方やボランティア等の市民団体と連携を深めることなども見据え、以下の取り組みが実施されます。

### (1) 第4回「土砂災害・全国統一防災訓練」の実施

6月7日(日)を中心に、全国各地で土砂災害を対象にした防災訓練を行いました。例年、市町村や住民だけでなく自衛隊や消防等とも連携した訓練が実施されています。

### (2) 土砂災害防止推進の集い(第27回全国大会)の開催

6月2日(火)に、山梨県甲府市において砂防の必要性と今後の事業展開について住民の理解を深めることを目的とし全国大会が開催されました。

### (3) 土砂災害防止功労者の表彰

土砂災害の防止について顕著な功績があった1個人、7団体が、平成21年度土砂災害防止功労者として平成21年6月2日の全国大会において表彰されました(本県からは2団体が表彰)。

### (4) 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の募集、表彰

全国の小・中学生を対象にして、絵画・作文・ポスターの募集が行われています。  
(募集期間：平成21年6月1日～平成21年9月15日)

## 岩手県の取り組み

### 『土砂災害に対する全国統一防災訓練』を実施しました

6月7日(日)に全国各地で防災訓練が実施されましたが、本県では、5月から9月にかけて、4市町村で避難訓練を実施する予定です。

陸前高田市では、5月24日(日)に避難訓練を実施しました。大雨洪水警報及び土砂災害警戒情報が発令されたものとし、自主防災組織を中心に住民の避難訓練が実施されました。







(砂防災課での情報伝達訓練の様子)

6月2日(火)には、県内全市町村・全振興局等を対象として、土砂災害警戒情報、災害報告等の情報伝達訓練を行いました。県内に大雨洪水警報が発令された事態を想定し、国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所、気象庁仙台管区盛岡地方気象台も参加し、実際と同様のルートで情報伝達を行いました。

### 砂防ボランティア岩手県協会と(社)岩手県建設業協会一関支部が、平成 21 年度土砂災害防止功労者国土交通大臣表彰を受賞しました

平成 21 年6月 2 日(火)に山梨県で開催された土砂災害防止推進の集い(第 27 回全国大会)において、砂防ボランティア岩手県協会と、(社)岩手県建設業協会一関支部が、平成 21 年度土砂災害防止功労者国土交通大臣表彰を受けました。

砂防ボランティア岩手県協会は、平成 9 年の発足以降の活動と、「平成 20 年岩手・宮城内陸地震」及び岩手県沿岸北部を震源とする地震の発生直後から実施された緊急点検に参加するなど、土砂災害の防止に尽力された功績が称えられたものです。

(社)岩手県建設業協会一関支部は、「平成 20 年岩手・宮城内陸地震」に際し、被災直後から状況確認を行うとともに、天然ダム決壊などによる被害の防止のため、昼夜を問わず緊急対策に尽力された功績が称えられたものです。

表彰式では、当時の活動の様子を紹介する映像も映されました。



(写真左：砂防ボランティア岩手県協会(笠原会長)の表彰の様子)

(写真右：社団法人岩手県建設業協会一関支部(宇部支部長)の表彰の様子)



### 平成21年度 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の募集について

県内の小・中学校を対象にして、絵画・ポスター・作文を募集しています。

(募集期間：平成 21 年6月 1 日～平成 21 年9月 15 日)

昨年度は、県での地方審査会に絵画 20 作品、ポスター 132 作品の応募をいただきました。今年度もたくさんの作品の応募をお待ちしております。

**※ 募集の詳細については、砂防災課(019-629-5921)にお問い合わせください。**

砂防災害課からのお知らせ

土砂災害対策等に関するお問い合わせ

場所： 県庁7階

TEL： 019-629-5922・5923（土砂災害対策担当）

FAX： 019-629-9140

E-mail: [AG0006@pref.iwate.jp](mailto:AG0006@pref.iwate.jp)

ホームページ案内

砂防災害課の業務内容等については、下記ホームページをご覧ください。

[http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=783&ik=3  
&pnp=17&pnp=66&pnp=783](http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=783&ik=3&pnp=17&pnp=66&pnp=783)

また、砂防災害課では、「いわて防災ポータル」ホームページにて防災に関連した情報を公開しています。気象情報や災害関連情報だけでなく、日頃の防災学習に役立つ情報も掲載しています。ぜひご利用ください。

<http://www.pref.iwate.jp/%7Ebousai/>（いわて防災ポータル）

その他、携帯電話のメールサービス「いわてモバイルメール」に登録いただくと、災害・防災関連情報が配信されます。岩手県内のさまざまな情報もメニューがございますので、ぜひご登録ください。

<http://www.pref.iwate.jp/m>（いわてモバイルメール：携帯電話用）

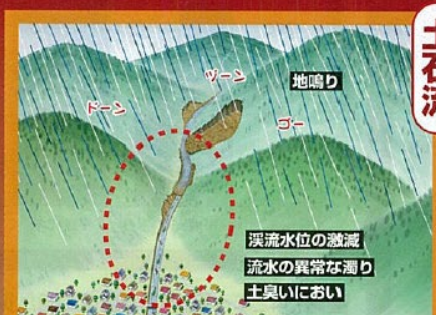


# 土砂災害にはこんな前兆現象があります!

こんな現象を見たら…聞いたら…早めに避難しましょう。

キケンな場所には近づかないようにしましょう。

※ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。



# 大船渡港津波・高潮防災ステーション運用開始

～津波災害から国土を守る～

大船渡地方振興局土木部

県では、大船渡港において、津波・高潮等の災害に強いまちづくりを推進しており、その一環として水門及び陸閘の開閉操作を一元的に管理する「津波・高潮防災ステーション」の運用を平成20年3月から開始しました。

従来、津波注意報・警報発令に伴う水門・陸閘の閉鎖操作は、主に地元消防団員が現地に行き操作を行っていましたが、津波が襲ってくるなかでの操作は、危険と隣あわせの作業です。このため、津波・高潮防災ステーションでは、水門・陸閘を遠隔で操作することで、消防団員の安全を確保し、さらに津波注意報や警報発令に伴う速やかな閉鎖操作が可能となります。

大船渡港の津波・高潮防災ステーションで操作できる水門・陸閘は、大船渡港地区でも大型の水門や交通量の多い陸閘が対象となっており、平成20年度までに陸閘3門、水門3門の遠隔化整備が完了しました。

将来は、陸閘4門、水門1門を追加し、合計で11箇所の水門・陸閘の遠隔監視制御を行う予定です。

大船渡港全体写真



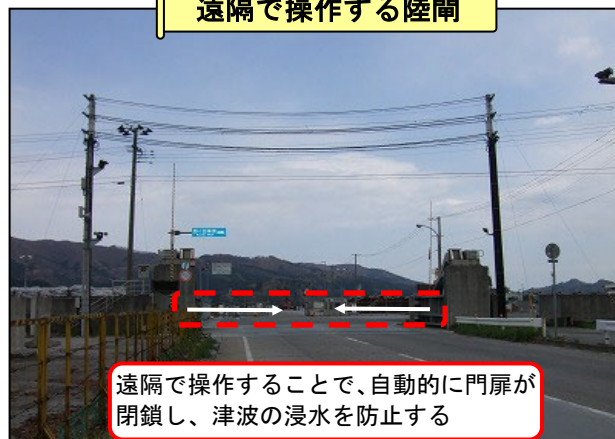
津波・高潮防災ステーションの概要

- ① 防災ステーション (平成20年度完成)  
(場所) 大船渡消防署構内  
(操作者) 大船渡消防署員  
(通信方法) 光ファイバーと無線回線を使用
- ② 茶屋前地区 (平成20年度完成)  
(対象門扉) 陸閘3門、水門1門
- ③ 永浜地区 (平成20年度完成)  
(対象門扉) 水門1門
- ④ 清水地区 (平成20年度完成)  
(対象門扉) 水門1門
- ⑤ 野々田地区 (平成21年度完成予定)  
(対象門扉) 水門1門
- ⑥ 魚市場地区 (平成25年度完成予定)  
(対象門扉) 陸閘4門

システムを使った操作訓練



遠隔で操作する陸閘



# 津付ダムの付替道路の整備が進んでいます！！

## ～津付ダム建設事務所の新看板お披露目式を開催～

**大船渡地方振興局土木部 津付ダム建設事務所**

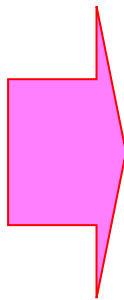
津付ダムは、住田町世田米字子飼沢地区に建設予定の治水専用（穴あき）ダムで、気仙川沿川の洪水被害を軽減することを目的としています。津付ダム建設事務所は、平成12年4月に空き家だった町有施設を活用して仮事務所として設置しましたが、今後、本格的な工事に入ることから、平成20年6月に新しい事務所の建築工事に着手し、平成20年12月上旬に完成しました。また、平成21年5月21日には、事務所の新看板お披露目式を開催しました。

今回お披露目した新事務所の看板は、地元住田町産の杉材を使用し、多田欣一住田町長が揮毫して、地権者の一人である佐々木英一氏が彫り上げたものです。お披露目式では、多田欣一住田町長をはじめ、三陸中部森林管理署、県の関係者ら約20人が出席し、津付ダムの早期完成に向けて心を新たにしました。

津付ダム建設事業は、現在、国道397号の付替道路の工事を進めており、工事用道路、2号橋下部工工事などを実施しています。今後はトンネル工事などに着手し、早期完成を目指して事業を推進してまいります。

多田欣一住田町長が  
揮毫した新看板  
(幅 1.8m×高 0.4m×厚 0.05m)

お披露目式の様子



2号工事用道路の施工状況



2号橋下部工工事の状況（橋脚工事）



## 空き家活用による住み替え・定住・交流促進事業 の提案募集について ～いわて住み替えシステム創出作戦～

建築住宅課

県では、6月23日から7月10日まで、地域で新たな雇用を図りながら、空き家住宅を活用して定住や住み替えの促進のための情報提供等のビジネスモデルの創造を行う「空き家活用による住み替え・定住・交流促進事業～いわて住み替えシステム創出作戦～」を実施するため、事業者等からの提案を募集しています。

### 1 事業概要

本事業は、ふるさと雇用再生特別基金を活用した雇用対策事業です。

過去に開発された郊外の大規模団地には、市街地への住み替え希望者と多くの空き家住宅がある一方で、郊外の広い住宅を求める方々や大都市圏からの移住希望者もいます。このことから、地域で新たな雇用を図りつつ、岩手の魅力を発信しながら、空き家住宅を活用して定住促進や子育て世代へ広い住宅を提供するための情報提供、仲介・あっせん等のビジネスモデルの創造に取り組むものです。

### 2 提案募集内容

県内の事業者、又は、企業連携グループが、地域で新たな雇用の確保を図りながら、空き家住宅の活用と定住促進等による良好な住宅環境の提供を実現するビジネスモデルの創造・展開についての企画を募集しています。雇用創出効果や期待される事業効果等が高い事業提案を選定し、その実施を委託します。

【モデル事業例】

- ① 対象団地の現況調査（空き家の把握、高齢者のみ世帯の把握、意向調査 など）
- ② 交流と連携の推進（講演会（PR等）の開催、住宅の改修モデルの設置 など）

### 3 応募要件

- ① 岩手県内に事業所を有する者  
及びその企業連携グループ
- ② 新たに失業者を4人以上雇用すること など

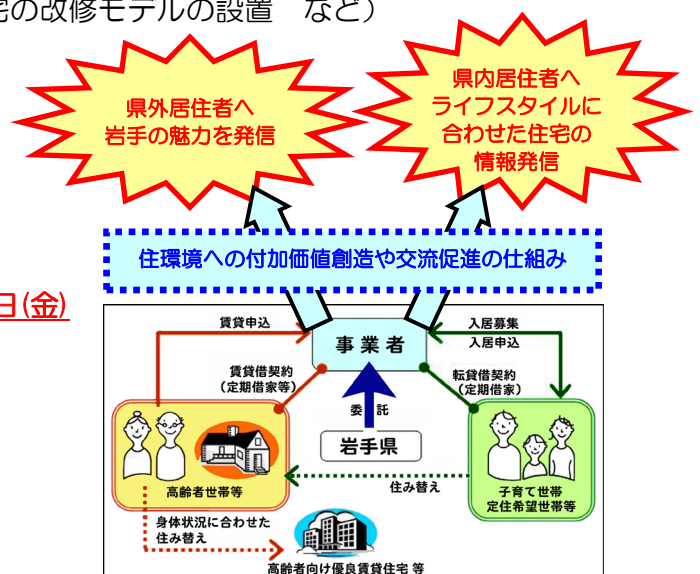
### 4 応募期間 平成 21 年6月23日(火)～7月10日(金)

### 5 事業委託者の選定

選定委員会で審査のうえ決定します。

※ 応募の詳細につきましては、  
岩手県のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?cd=19688&ik=0&pnp=14>



## 早池峰ダムのライトアップのお知らせ

早池峰ダムでは、**ダムのライトアップ**を行なっています。

幻想的な風景を醸し出す**早池峰ダム**の夜景を楽しんでみてはいかがでしょうか。

### 《平成21年度実施日時》

#### 1 週末

4月25日(土)～9月26日(土)の毎週土曜日(日没～22:00まで)

#### 2 森と湖に親しむ旬間

7月21日(火)～7月30日(木)の毎日(日没～22:00まで)

#### 3 早池峰神社例大祭前夜祭

7月31日(金)(日没～24:00まで)

#### 4 お盆

8月13日(木)～16日(日)(日没～22:00まで)

#### 5 クリスマス

12月24日(木)～25日(金)(日没～22:00まで)

#### 6 年末年始

12月31日(木)～翌1月1日(金)(日没～夜明けまで)

終了時刻になりますと、ライトが順次消灯し、10分後に全消灯しますのでお気をつけください。



早池峰ダム周辺で不審者、不審物を見かけた場合は、下記までご連絡をお願いします。

花 巻 警 察 署 TEL. 0198-23-0110

県南広域振興局 花巻総合支局 土木部 治水環境課 TEL. 0198-22-4971